

研究課題名	臍頭十二指腸切除術における周術期予防抗菌薬 Piperacillin-Tazobactam の有用性に関する前向き観察研究
研究期間	2025年1月16日 ～ 2030年12月31日
研究の対象	実施許可日から2029年12月までの間に広島大学病院消化器外科で臍頭十二指腸切除手術を受けられる方
研究の目的・方法	研究目的：臍頭十二指腸切除術における周術期予防抗菌薬 Piperacillin-Tazobactam の有用性を明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、集計、簡単な統計処理を行う研究です。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、臨床病理学的因子、術後合併症の発症率
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を開始する予定日	2025年1月（本学における実施許可日以降）
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付け管理します。
研究組織	本学の研究責任者および試料・情報の管理責任者 広島大学大学院医系科学研究科外科学 准教授 上村健一郎
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 消化器外科 担当者： 上村健一郎、住吉辰朗、新宅谷隆太、岡田健司郎、馬場健太 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5216</p>